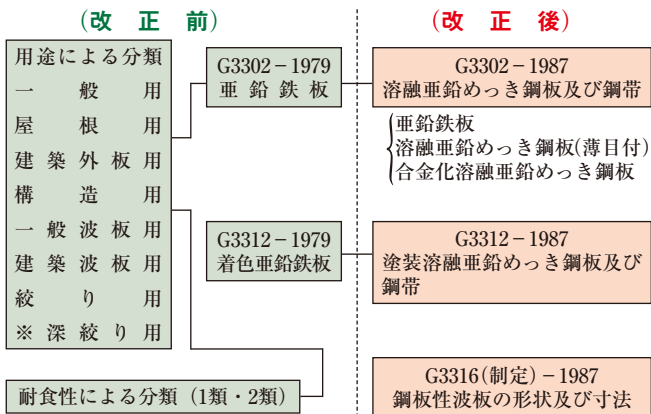


亜鉛鉄板のJIS改正

亜鉛鉄板のJISが62年9月に改正され、63年4月契約分から全面的に採用されます。従来のJISは亜鉛付着量の多いものを対象とし亜鉛鉄板の名称で、その種類・記号・亜鉛の付着量等が規定されていました。しかし改正JISでは、亜鉛鉄板に加えて、従来JISにはなかった薄めっきの溶融亜鉛めっき鋼板や、めっき層を合金化処理したのも含まれることになり、名称も溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯と改められます。今回の改正による新旧規格は次のとおりです。



ネグロス製品のレースウェイ(DP-1・DP-2等)やワールドダクター(D-1・D-2等)は、従来からのJIS規格Z27材を使っております。ケーブルラック塗装品(SR・QR型等)の素材も今般の改正でJIS規格品(合金化)になりました。塗装したケーブルラックは、下地の素材によって耐久性に格段の差があります。